



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月1日  
上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社  
コード番号 4507 URL <https://www.shionogi.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 手代木 功  
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 京川 吉正 TEL 06-6202-2161  
四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	71,839	4.2	12,421	△33.9	40,310	75.7	34,426	6.9	34,722	7.7	56,607	66.8
2022年3月期第1四半期	68,965	△3.4	18,794	△34.2	22,941	△30.5	32,198	31.4	32,238	31.6	33,935	47.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	115.17	115.13
2022年3月期第1四半期	106.94	106.91

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,200,957	1,036,516	1,014,361	84.5
2022年3月期	1,150,601	993,285	975,661	84.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	60.00	115.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	60.00	—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	180,000	24.1	57,000	33.6	86,000	69.2	71,500	34.6	237.16
通期	400,000	19.4	120,000	8.8	168,000	33.0	136,000	19.1	451.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	311,586,165株	2022年3月期	311,586,165株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	10,103,658株	2022年3月期	10,103,385株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	301,482,644株	2022年3月期1Q	301,463,533株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2022年8月1日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。説明内容（トランスクリプト）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）の業績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	増減率（%）
売上収益	71,839	68,965	2,873	4.2
営業利益	12,421	18,794	△6,372	△33.9
コア営業利益 <sup>※</sup>	12,662	19,384	△6,721	△34.7
税引前四半期利益	40,310	22,941	17,369	75.7
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	34,722	32,238	2,483	7.7

※ 会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益となります。

売上収益につきましては、前年同期比4.2%の増収となりました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、インチュニブの売上収益が拡大した一方、サインバルタの後発品参入の影響による売上収益の減少により前年同期比19.0%の減収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましては、多剤耐性グラム陰性菌に効果を示すセフィデロコル（米国の製品名：Fetroja、欧州の製品名：Fetroja）が欧米で好調に推移した一方、2021年度第1四半期に米国においてFORTAMETの販売権等の移管に関する一時金を受領した影響により、前年同期比5.3%の減収となりました。ロイヤリティ収入につきましては、ドゥベイト、カベヌバなどを中心にヴィーブに導出したHIVフランチャイズの売上が伸長したことや、為替の影響により前年同期比29.7%の増収となりました。

利益面につきましては、新型コロナウイルスに対する治療薬、ワクチン等の最優先課題や注力プロジェクトへの研究開発投資により研究開発費が増加した結果、営業利益は前年同期比33.9%の減益となりました。コア営業利益は、非経常的な項目を調整した結果、営業利益とほぼ同様の実績となり前年同期比で34.7%の減益となりました。税引前四半期利益につきましては、2021年度第4四半期に受領予定であったヴィーブからの配当金を当第1四半期連結累計期間に受領したこと及びヴィーブがギリアドとの訴訟の和解に伴う一時金を受領したことによる配当金の増加により、前年同期比75.7%の増益となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、2021年度第1四半期に大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領した影響により、前年同期比7.7%の増益にとどまりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1兆2,009億57百万円で、前連結会計年度末に比べて503億55百万円増加しました。

非流動資産は、仕掛研究開発資産（無形資産に含みます）やその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産（その他の金融資産に含みます）の増加により5,170億35百万円となり、前連結会計年度末に比べて256億39百万円の増加となりました。流動資産は、棚卸資産や未収金（その他の金融資産に含みます）の増加により、6,839億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて247億16百万円増加しました。

資本については1兆365億16百万円となり、四半期利益の計上、配当金の支払、在外営業活動体の外貨換算差額（その他の資本の構成要素に含みます）の増加及び子会社における第三者割当による非支配持分の増加により前連結会計年度末に比べて432億30百万円増加しました。

負債については1,644億41百万円で、前連結会計年度末に比べて71億24百万円増加しました。

非流動負債は346億4百万円で、前連結会計年度末に比べて16億84百万円の増加となりました。流動負債は1,298億36百万円で、前連結会計年度末に比べて54億40百万円の増加となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の計上及び営業債権の回収等により、前年同期に比べ179億82百万多い382億49百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増減、無形資産の取得等により、前年同期に比べ90億61百万円多い824億74百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払額が増加した一方、子会社における第三者割当による増資があったため、前年同期に比べ32億36百万円少ない142億21百万円の支出となりました。

これらを合わせた当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は497億91百万円の減少となり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,046億29百万円となりました。

(4) 今後の見通し

現時点におきまして、2022年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。今後、業績予想の修正が必要と判断しましたら速やかに公表いたします。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

 (1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	68,965	71,839
売上原価	△12,331	△12,945
売上総利益	56,634	58,893
販売費及び一般管理費	△21,750	△22,447
研究開発費	△14,729	△22,530
製品に係る無形資産償却費	△818	△956
その他の収益	1,282	165
その他の費用	△1,824	△702
営業利益	18,794	12,421
金融収益	4,229	27,913
金融費用	△82	△24
税引前四半期利益	22,941	40,310
法人所得税費用	9,256	△5,884
四半期利益	32,198	34,426

四半期利益の帰属		
親会社の所有者	32,238	34,722
非支配持分	△40	△295
四半期利益	32,198	34,426

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	106.94	115.17
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	106.91	115.13

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	32,198	34,426
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するもの として指定した資本性金融商品の公正価値の純変動 額	△4,685	1,125
確定給付制度の再測定	460	△365
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,224	760
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	5,448	22,580
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	513	△1,160
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5,962	21,420
税引後その他の包括利益合計	1,737	22,180
四半期包括利益	33,935	56,607

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	33,847	56,042
非支配持分	88	564
四半期包括利益	33,935	56,607

## （2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	108,893	111,243
のれん	9,638	9,864
無形資産	81,223	97,125
使用権資産	3,524	3,529
投資不動産	26,672	26,659
その他の金融資産	242,479	250,470
繰延税金資産	12,907	11,928
その他の非流動資産	6,055	6,214
非流動資産合計	491,396	517,035
流動資産		
棚卸資産	45,892	52,061
営業債権	122,965	97,928
その他の金融資産	210,757	298,175
未収法人所得税	51	610
その他の流動資産	25,117	30,516
現金及び現金同等物	254,420	204,629
流動資産合計	659,205	683,921
資産合計	1,150,601	1,200,957



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	14,455	15,204
自己株式	△57,857	△57,858
利益剰余金	832,958	849,226
その他の資本の構成要素	164,824	186,510
親会社の所有者に帰属する持分	975,661	1,014,361
非支配持分	17,624	22,154
資本合計	993,285	1,036,516
負債		
非流動負債		
リース負債	3,729	3,675
その他の金融負債	5,616	5,027
退職給付に係る負債	15,412	16,092
繰延税金負債	7,807	8,456
その他の非流動負債	354	1,352
非流動負債合計	32,920	34,604
流動負債		
リース負債	2,945	2,971
営業債務	16,372	15,579
その他の金融負債	22,027	22,947
未払法人所得税	17,973	12,255
その他の流動負債	65,078	76,083
流動負債合計	124,396	129,836
負債合計	157,316	164,441
資本及び負債合計	1,150,601	1,200,957

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	21,279	13,733	△57,989	752,248	116,836	846,108	18,442	864,550
四半期利益				32,238		32,238	△40	32,198
税引後その他の包括利益合計					1,608	1,608	129	1,737
四半期包括利益	—	—	—	32,238	1,608	33,847	88	33,935
自己株式の取得			△1			△1		△1
配当金				△16,580		△16,580		△16,580
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				460	△460	—		—
その他		798		△8		789	△798	△8
2021年6月30日残高	21,279	14,531	△57,990	768,358	117,984	864,163	17,732	881,896

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	21,279	14,455	△57,857	832,958	164,824	975,661	17,624	993,285
四半期利益				34,722		34,722	△295	34,426
税引後その他の包括利益合計					21,320	21,320	860	22,180
四半期包括利益	—	—	—	34,722	21,320	56,042	564	56,607
自己株式の取得			△1			△1		△1
配当金				△18,088		△18,088		△18,088
支配継続子会社に対する持分変動		748				748	3,965	4,714
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△365	365	—		—
2022年6月30日残高	21,279	15,204	△57,858	849,226	186,510	1,014,361	22,154	1,036,516

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	22,941	40,310
減価償却費及び償却費	3,746	4,300
減損損失	125	—
金融収益及び金融費用	△4,063	△27,091
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	3,682	25,898
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,324	△5,785
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△2,745	2,937
その他	△1,960	△2,879
小計	19,402	37,689
利息及び配当金の受取額	10,755	12,718
利息の支払額	△24	△26
法人所得税の支払額	△21,968	△12,132
法人所得税の還付額	12,102	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,266	38,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△78,021	△181,608
定期預金の払戻による収入	24,557	118,742
有形固定資産の取得による支出	△1,699	△5,040
無形資産の取得による支出	△300	△13,290
投資の取得による支出	△39,976	△51,716
投資の売却による収入	22,000	50,436
その他	26	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,413	△82,474

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△879	△843
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△16,577	△18,089
非支配持分からの払込による収入	—	4,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,457	△14,221
現金及び現金同等物の為替変動による影響	750	8,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,853	△49,791
現金及び現金同等物の期首残高	276,173	254,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	206,319	204,629

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

# 2023年3月期 第1四半期業績 補足資料

2022年8月1日  
塩野義製薬株式会社

## ① 事業別売上収益

(単位：億円)

	2022年上期 予 測	2022年度 予 測	2022年4-6月 実 績	2021年4-6月 実 績	対前年 増減額	対上期予測 進捗率
国内医療用医薬品	355 (△24.6)	786 (△11.8)	190 (△19.0)	235 (5.1)	△45	53.5
インチュニブ	90	195	47	36	11	51.6
ビバンセ	5	11	3	1	2	65.0
感染症薬	43	134	21	21	△0	47.8
サイバルタ	31	61	17	68	△52	53.8
オキシコンチン類	23	45	12	13	△1	52.0
スインプロイク	15	33	8	6	2	51.9
アシテア	3	6	1	1	0	45.5
ムルプレタ	1	1	0	0	△0	46.5
ピレスパ	12	24	7	10	△3	57.5
その他	133	276	75	79	△3	56.4
クレストール	17	33	11	14	△4	62.5
海外子会社/輸出	181 (3.7)	416 (21.2)	88 (△5.3)	93 (70.0)	△5	48.7
シオノギ Inc.	60	130	30	47	△17	50.1
平安塩野義/C&O	63	148	25	24	2	40.1
シオノギ B.V.	34	84	19	9	10	55.0
製造受託	63 (△25.0)	148 (△15.3)	34 (△10.2)	37 (30.2)	△4	53.7
一般用医薬品	63 (4.5)	134 (20.0)	19 (△21.2)	25 (9.0)	△5	30.8
ロイヤリティー収入	682 (4.4)	1,404 (△22.5)	384 (29.7)	296 (△22.1)	88	56.3
HIVフランチャイズ	670	1,339	373	288	85	55.7
クレストール	-	-	-	-	-	-
その他	12	65	11	8	3	91.5
COVID-19関連製品	450 (-)	1,100 (-)	- (-)	- (-)	-	-
その他	6 (△21.0)	12 (△32.7)	3 (△13.8)	4 (△17.3)	△1	51.6
合 計	1,800 (24.1)	4,000 (19.4)	718 (4.2)	690 (△3.4)	29	39.9

注)1. ( )内 対前年UP%

2. 国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

3. 感染症薬の構成製品：ゾフルーザ、ラビアクタ、ブライトポックFlu・Neo、フィニボックス、フルマリン、フロモックス、シオマリン、パソマイシン、バクタ、フラジール、イソジン

4. COVID-19関連製品：エンシトレルビル フマル酸(S-217622)、S-268019の売上収益

## ② - 1 四半期別業績推移(四半期別事業別売上収益)

(単位: 億円)

2022年3月期	2021年4-6月 実績	対前年 UP率	2021年7-9月 実績	対前年 UP率	2021年10-12月 実績	対前年 UP率	2022年1-3月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	235	5.1	237	△4.6	224	△9.2	196	△14.3
サインバルタ	68	△1.5	47	△29.0	27	△62.0	18	△70.7
インチュニブ	36	37.3	40	18.2	45	27.4	42	21.6
ビバンセ	1	436.2	2	223.0	2	170.0	2	124.6
感染症薬	21	△1.6	37	34.4	30	9.3	30	40.3
オキシコンチン類	13	△8.9	12	△12.0	13	△1.1	10	△18.4
スインプロイク	6	24.8	7	11.8	7	26.5	7	9.9
アシテア	1	79.1	1	56.2	1	36.2	1	25.4
ムルプレタ	0	18.0	0	△4.3	0	21.0	0	△0.5
ピレスパ	10	△32.2	10	△27.6	11	△8.5	8	△31.4
その他	79	8.1	81	△5.6	87	7.4	78	△3.8
クレストール	14	△7.7	16	△22.4	16	12.9	13	△20.1
イルベタン類	8	△7.3	8	△10.7	9	0.4	8	△2.1
海外子会社/輸出	93	70.0	81	46.7	87	35.1	82	14.6
シオノギ Inc.	47	182.7	32	89.2	33	58.6	26	27.8
平安塩野義/C&O	24	0.2	24	24.1	25	△7.4	30	△5.0
シオノギ B.V.	9	144.1	14	267.6	16	180.6	12	72.3
製造受託	37	30.2	46	21.3	35	△3.1	56	△40.7
一般用医薬品	25	9.0	36	11.1	24	△28.8	28	△5.6
ロイヤリティー収入	296	△22.1	358	△9.1	370	△1.4	789	164.7
HIVフランチャイズ	288	△6.8	324	△1.7	350	12.3	778	174.8
クレストール	-	-	-	-	12	△78.9	-	-
その他	8	△47.4	33	328.6	9	△3.4	11	△25.6
その他	4	△17.3	4	8.6	6	37.3	4	△14.6
合計	690	△3.4	761	△1.2	745	△1.9	1,155	58.8

注) 国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

2023年3月期	2022年4-6月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	190	△19.0
インチュニブ	47	29.5
ビバンセ	3	105.8
感染症薬	21	△2.3
サインバルタ	17	△75.6
オキシコンチン類	12	△4.4
スインプロイク	8	31.7
アシテア	1	18.0
ムルプレタ	0	△12.4
ピレスパ	7	△29.0
その他	75	△4.4
クレストール	11	△25.7
海外子会社/輸出	88	△5.3
シオノギ Inc.	30	△36.2
平安塩野義/C&O	25	7.4
シオノギ B.V.	19	108.6
製造受託	34	△10.2
一般用医薬品	19	△21.2
ロイヤリティー収入	384	29.7
HIVフランチャイズ	373	29.3
クレストール	-	-
その他	11	42.6
COVID-19関連製品	-	-
その他	3	△13.8
合計	718	4.2

注) 国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

## ② - 2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

2022年3月期	2021年4-6月 実績	対前年 UP率	2021年7-9月 実績	対前年 UP率	2021年10-12月 実績	対前年 UP率	2022年1-3月 実績	対前年 UP率
売上収益	690	△3.4	761	△1.2	745	△1.9	1,155	58.8
売上原価	17.9 △123	7.3	19.2 △147	28.9	17.3 △129	△1.7	13.5 △156	△6.1
売上総利益	566	△5.5	615	△6.4	617	△1.9	999	77.9
販売費及び一般管理費	31.5 △218	4.2	29.6 △225	0.9	29.9 △223	△3.4	21.8 △252	△1.7
研究開発費	21.4 △147	21.1	17.7 △134	6.0	26.9 △200	39.4	21.4 △248	65.0
製品に係る 無形資産償却費	1.2 △8	1.2	1.1 △8	2.6	1.1 △8	5.4	0.9 △10	24.1
その他の収益・費用	△5		△8		△7		9	
営業利益	27.3 188	△34.2	31.4 239	△19.6	23.8 178	△62.1	43.2 499	306.3
金融収益・費用	41	△6.7	40	△45.9	62	125.4	16	△85.4
税引前四半期利益	33.3 229	△30.5	36.6 279	△24.9	32.1 240	△51.7	44.6 515	121.6
税金費用他	93	△209.0	△70	△24.6	△61	△53.0	△83	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	46.7 322	31.6	27.4 209	△25.0	24.0 179	△51.3	37.4 432	89.2

2023年3月期	2022年4-6月 実績	対前年 UP率
売上収益	718	4.2
売上原価	18.0 △129	5.0
売上総利益	589	4.0
販売費及び一般管理費	31.2 △224	3.2
研究開発費	31.4 △225	53.0
製品に係る 無形資産償却費	1.3 △10	16.9
その他の収益・費用	△5	
営業利益	17.3 124	△33.9
金融収益・費用	279	572.5
税引前四半期利益	56.1 403	75.7
税金費用他	△56	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	48.3 347	7.7



### ③ 開発品(2022年8月1日現在)

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 (セフィデコロルトシル酸 塩硫酸塩水和物) [米国: Fetroja <sup>®</sup> ] [欧州: Fetcroja <sup>®</sup> ]	細胞壁合成阻害(注 射)	他の治療がないまたは 限定される腎盂腎炎を 含む複雑性尿路感染 症、院内肺炎(米国) 治療が限定される好気 性グラム陰性菌による 感染症(欧州) カルバペネム系抗菌薬 に耐性が考えられるグ ラム陰性菌による各種 感染症(日本)	グローバル: フェーズⅢ (小児) 日本: 申請(2022年3月)	自社	自社
	S-033188 (パロキサビル マルボ キシル) [日本: ソフルーザ <sup>®</sup> ]	キャップエンドヌクレア ーゼ阻害(経口・顆粒)	インフルエンザウイルス 感染症	日本: 申請(体重20kg 未 満)(2018年8月)	自社	自社/Roche (スイス)
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防	日本: フェーズⅢ グローバル: フェーズⅢ	自社	自社
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防(青少年)	日本: フェーズⅡ/Ⅲ	自社	自社
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防(学童)	日本: フェーズⅠ/Ⅱ/Ⅲ	自社	自社
	S-217622 (エンシトレビル フマ ル酸)	3CLプロテアーゼ阻害 剤(経口)	新型コロナウイルス感 染症の治療	日本: 申請(2022年2月)、 フェーズⅡ/Ⅲ グローバル: フェーズⅢ	自社	自社
	F901318 (olorofim)	ジヒドロオロト酸デヒド ロゲナーゼ(DHODH)阻 害(経口)	侵襲性アスペルギルス 感染症	グローバル: フェーズⅢ	F2G(英国)	自社/F2G
疼痛・神経	S-297995 (ナルデメジントシル酸 塩) [日本: スインプロイク <sup>®</sup> ] [米国: Symproic <sup>®</sup> ] [欧州: Rizmoic <sup>®</sup> ]	末梢性オピオイド受容 体アンタゴニスト (経口・散剤)	オピオイド誘発性便秘 症(小児)	欧州: フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-120083	未公表(経口)	炎症性疼痛	日本: フェーズⅠ 米国: フェーズⅡ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-010887	未公表(経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表(経口)	不眠症	米国: フェーズⅠ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-600918 (シボピキサント)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918 (シボピキサント)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	難治性・原因不明慢性 咳嗽	グローバル: フェーズⅡ	自社	自社
	S-812217 (zuranolone)	GABA <sub>A</sub> 受容体ポジティ ブアロステリックモジュ レーター(経口)	うつ病・うつ状態	日本: フェーズⅢ	Sage(米国)	自社/Sage
	SDT-001	中枢作用に基づく、治療 用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症 状(小児)	日本: フェーズⅢ	Akili(米国)	自社/Akili
	BPN14770 (zatomilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	脆弱X症候群	米国: フェーズⅡ/Ⅲ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	BPN14770 (zatomilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	アルツハイマー型認知 症	米国: フェーズⅡ 日本: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
代謝疾患	S-237648	ニューロペプチド Y Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	ADR-001	ヒト他家脂肪組織由来 の間葉系幹細胞 (注射)	非代償性肝硬変	日本: フェーズⅠ/Ⅱ	ロート(日本)	自社/ロート
	S-309309	モノアシルグリセロール アシルトランスフェラー ゼ2阻害剤(経口)	肥満症	米国: フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧:フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン (注射)	固形がん	英国:フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻 害薬(経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用(吸入)	特発性肺線維症	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 (外用)	皮膚潰瘍(褥瘡、糖尿 病性潰瘍)	日本:フェーズⅢ	ファンベップ(日本)	自社/ファンベップ
	S-005151 (レダセムチドリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員(注射)	脳梗塞	日本:フェーズⅡ	ステムリム(日本)	自社
	S-005151 (レダセムチドリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員(注射)	表皮水疱症	日本:フェーズⅡ	ステムリム(日本)	自社
	S-531011	抗CCR8抗体(注射)	固形がん	日本・米国:フェーズⅠ b/Ⅱ	自社	自社

<導出品>

開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*1 (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害 (注射)	HIV感染症(治療 及び予防)	(CAB*2 LAP、予防適応) グローバル:フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare	予防:ViiV、HPTN、 NIAID、Gilead(米 国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメ ティック(経口)	脊髄小脳変性症	日本:申請(2021年12月)	自社	キッセイ薬品(日 本)
S-033188 (バロキサビルマル ボキシル) [米国:Xofluza™]	キャップエンドヌクレ アーゼ阻害(経口)	インフルエンザウ イルス感染症	米国:申請(小児、1歳以上)(2020年3月) グローバル:フェーズⅢ(小児、1歳未満) グローバル:フェーズⅢ(伝播抑制)	自社	自社/Roche (スイス)
S-555739 (asapirant)	プロスタグランジンD2 DP1受容体拮抗(経 口)	COVID-19の重症 化抑制	米国:フェーズⅡ	自社	BioAge(米国)
S-723595	アセチルCoAカルボキ シラーゼ2阻害(経口)	非アルコール性脂 肪肝炎	日本:フェーズⅠ	自社	The Liver Company(米国)

\*1 Long acting parenteral formulation、\*2 Cabotegravir

2022年5月11日からの変更点

ステージの追加	S-268019(新型コロナウイルス感染症の予防(学童)):日本:フェーズⅠ/Ⅱ/Ⅲ F901318:グローバル:フェーズⅢ
ステージの変更	S-723595:開発品→導出